



# ちよーこく 平成27年 4月14日 記者発表

本誌の投込みをもって解禁

記者発表資料配布先

- ・長岡市記者会
- ・長岡地域記者会
- ・小千谷新聞

## 長岡技術科学大学の学生が 道の駅を活用した地域活性化方策を検討するため 平成26年度に道の駅ちぢみの里おぢやで行われた 社会実験について現地で勉強します

「道の駅」は、地元の名物や観光資源を活かして多くの人々を迎えるなど、地域活性化の拠点となっています。

国土交通省長岡国道事務所では、「道の駅」と大学との連携・交流の一環として、「道の駅ちぢみの里おぢや」における長岡技術科学大学4年生の現地実習をお手伝いします。

長岡技術科学大学環境システム工学特別演習(4年1学期開講)では、持続可能性を常に意識する環境マインドを持つ次世代の環境技術者養成を目標として、学生が主体的に社会事象を実地調査し、実社会における制約条件を考慮した実現可能な解決策を提示するカリキュラムに取り組んでいます。

今年度は、道の駅を活用した地域活性化方策を課題の一つとして検討することになりました。そこで、平成26年度に「道の駅ちぢみの里おぢや」で行われた社会実験を、主体的に取り組んだNPO法人おぢや元気プロジェクトの方から、社会実験の取り組みや成果、課題などについてのお話を伺い、今後の検討の参考とするため、下記のとおり現地勉強会を行います。

**実施日時** 平成27年4月15日(水) 13時30分から  
**実施場所** 道の駅ちぢみの里おぢや  
**参加者** 長岡技術科学大学 環境システム工学課程 4年生 7名  
**説明者** NPO法人 おぢや元気プロジェクト  
(社会実験の概要は別紙のとおり)

お問い合わせ先：

○道の駅を題材にしたカリキュラムについて  
長岡技術科学大学大学院 都市交通研究室 教授 佐野 可寸志  
[電話] 0258-47-9616 [FAX] 0258-47-9650

○平成26年度実施の社会実験について  
NPO法人おぢや元気プロジェクト 理事長 若林 和枝  
[電話] 0258-82-2650 [FAX] 0258-82-2650

○道の駅を活用した地域活性化の支援について  
国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 調査課長 嶋倉 正幸  
[電話] 0258-36-4582 [FAX] 0258-34-3182

ふるさとの めくもり伝える 道づくり

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所  
〒940-8512 新潟県長岡市中沢4丁目430-1

パソコン、スマートフォン <http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/>  
携帯電話 <http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/>

携帯版



スマホ版



## 【平成26年度に実施した社会実験の概要】

実験名称:「道の駅」道路情報提供スペースの高度利用による近隣住民と道路利用者との交流促進実験

期 間 :平成26年9月12日～平成27年3月27日

実施主体:「道の駅ちぢみの里おぢや」セカンドステージ協議会

実施内容:①地域情報の収集・提供の仕組みづくり  
②交流スペースの拡充とコンシェルジュの配置  
③デジタルサイネージを活用した24時間地域情報の発信  
④休憩・交流環境の充実、防災機能の強化

主な成果:デジタルサイネージとコンシェルジュによる積極的な情報発信により、商店街等まち中への人の流れを生み出すことができることを確認した。また、道の駅に対する満足度を高めることができた。



コンシェルジュによる地域情報の案内



デジタルサイネージの利用状況



屋外オープンスペースの利用状況



Wi-Fi付非常時対応自販機の利用状況